

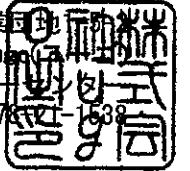
7 月	年度 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
5	20	市政報告「ちがさきレポート」No.15号 印刷代 (杉本議員)	92,778	0
1	15	市政報告「ちがさきレポート」臨時号 (浜須賀) 印刷代 (杉本議員)	22,022	114,800
2	3	市政報告「ちがさきレポート」No.15号 印刷代 (杉本議員)	93,720	208,520
2	5	市政報告「ちがさきレポート」臨時号 (南湖) 印刷代 (杉本議員)	25,245	233,765
2	5	市政報告「ちがさきレポート」臨時号 (松浪) 印刷代 (杉本議員)	25,245	259,010
3	12	市政報告「ちがさきレポート」No.16号 印刷代 (杉本議員)	327,591	586,601
		広報費合計	586,601	586,601

領収書

領収書番号 00000986651

財政ちがさき 杉本啓子様

お支払金額	¥92,778 (税込)
内訳	¥83,980 (本体価格)
	¥8,798 (消費税額)
但し	印刷代として (クレジットカードにて決済)
出荷日	2025-05-20
発行日	2026/03/26

〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地
株式会社 
カスタマーセンター
TEL 0502-018-1785 FAX 0173-421-1639

ちがさきレポート No.15

3000 枚



特集 知ってビックリ! 茅ヶ崎防災

2026年度の防災庁の発足をめざして、国の災害対応が「専門性を高めて事前防災を強化」するセカンドステージに進む形になっています。茅ヶ崎市はこの流れに乗れるのでしょうか？市の現状をまとめて見ました。

まず、茅ヶ崎市の備蓄状況を見てみましょう。（一般質問の回答などからまとめています。）

■ 飲料水について

Q : 市内のペットボトルの備蓄量は、どれぐらいで、何日間もつ想定ですか？

市の回答 : ペットボトル飲料水の備蓄は、2ℓと500ml合わせて約8,000本で、量としては約13,000ℓです。

（基準とする避難者数は、茅ヶ崎市に最も大きな被害が想定される「都心南部地震」に基づく。県の被害想定では、発災1日目から3日目までの避難所と避難所外の避難者数が4,870人、1日目のみ帰宅困難者数6,390人。）

Q : そうすると、ペットボトルの水は、避難者一人1ℓ 配付したとすると、1、2日しかもたないのでは？

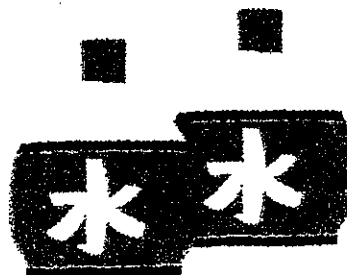
ペットボトル以外にはどうやって飲料水を確保するのですか？

市の回答 : ペットボトル以外の飲料水としては、100立方メートルの容量がある飲料水兼用貯水槽、小・中学校の受水槽や耐震性プール、県が管理する配水池からの給水、協定による調達等を想定しています。

・飲料水兼用貯水槽・

水道管からの飲料水を利用するもので、第一カッターきい公園（中央公園）、東小和田公園、茅ヶ崎公園野球場、浜之郷公園、しろやま公園、浜須賀中、萩園中、西浜中、緑が浜小の市内9か所に設置しています。

一人1日3リットルを3日間使用するとした場合、1基につき1万1,000人分、9基で約9万9,000人分の想定となります。



領収書

領収書番号 00001011407

財政ちがさき 杉本啓子 様

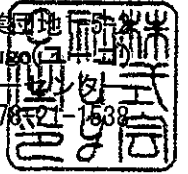
お支払金額	¥22,022 (税込)
内訳	¥20,020 (本体価格)
	¥2,002 (消費税額)
但し	印刷代として (クレジットカードにて決済)
出荷日	2026-01-15
発行日	2026/03/26

〒039-2245青森県八戸市北インター工業団地

株式会社uag(ユアゲー)

カスタマーセンター

TEL 0502-018-1785 FAX 0178-21-1538



左記のレシート 陸品番号
(誤経費)

2000

茅ヶ崎市議会議員（無所属）

臨時号

杉本けいこ ちがさきレポート



特集

津波ハザードマップの勉強会

昨年、7月30日にカムチャツカ半島付近でマグニチュード8.7の地震が発生し、茅ヶ崎市を含む太平洋沿岸の広い範囲で津波警報が発令されました。

茅ヶ崎市の「津波ハザードマップ」が公表・配布されたのは、この地震の1か月後です。

そのため津波警報が鳴ったときは、ハザードマップが未配布で、津波避難をどう考えたらよいかなど説明されていないタイミングだったこともあり、住民には避難行動への混乱も見受けられました。

■住民対象の説明会、実施は1地区のみだった

市は津波避難の考え方を市民へ周知し、円滑な避難行動を目的として、新たな「津波ハザードマップ」の説明会を2種類計画していました。

1つは自主防災会や防災リーダーなどを対象とした説明会、もう1つは地区内の住民を対象とした説明会、この2種類です。

昨年の11月8日、サイレンを鳴らした「津波避難訓練」がありましたが、この訓練までに説明会を行うとしていました。説明会を行う地区は、沿岸部のまちづから協議会6地区（湘南、南湖、海岸、茅ヶ崎南、浜須賀、松浪地区）です。

それで、実際に2種類の勉強会、どれくらい実施されたのでしょうか？

私が一般質問で確認したところ、沿岸部6地区のうち、自主防災会や防災リーダーへの説明会が行われたのは5地区です。その一方で、地区内の住民を対象とした説明会が行われたのは1地区だけでした。

最も優先して説明会が必要なのは、津波ハザードマップで浸水が想定される「浸水想定区域内」の住民や、その周辺の住民に対してのはずです。住民への説明会がほとんど行われていないことに危機感を感じ、早急な説明会の実施を要望しました。

市からは、住民への説明会を実施していない沿岸地区については、市主催で日程や会場の確保を行い、年度内（令和8年3月まで）に説明会を行うとの回答をいただきました。

★ 今回、浜須賀地区においては、令和8年1月25日（日）に9:30から浜須賀会館で説明会が行われます。（市の防災対策課が主催）

領収書

領収書番号 00001012988

財政ちがさき 杉本啓子様

お支払金額	¥93,720 (税込)
内訳	¥85,200 (本体価格)
	¥8,520 (消費税額)
但し	印刷代として (クレジットカードにて決済)
出荷日	2026-02-03
発行日	2026/03/26

〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地
株式会社ugo (有限会社)
カスタマーセンター
TEL 0502-018-1785 FAX 0178-71-1538



ちがさきレポート No.15

3000枚

領収書

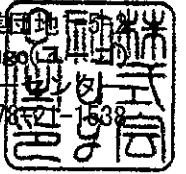
領収書番号

00001013438

財政ちがさき 杉本啓子様

お支払金額	¥25,245 (税込)
内訳	¥22,950 (本体価格)
	¥2,295 (消費税額)
但し	印刷代として (クレジットカードにて決済)
出荷日	2026-02-05
発行日	2026/03/26

〒039-2245青森県八戸市北インター工業団地
株式会社uag(ユアゲー)
カスタマーセンター
TEL 0502-018-1785 FAX 0178-21-1538



ちがさきしアント 臨時

(南沼月)

3000

茅ヶ崎市議会議員（無所属）

臨時号

杉本けいこ ちがさきレポート



特集 津波ハザードマップの勉強会

昨年、7月30日にカムチャツカ半島付近でマグニチュード8.7の地震が発生し、茅ヶ崎市を含む太平洋沿岸の広い範囲で津波警報が発令されました。

茅ヶ崎市の「津波ハザードマップ」が公表・配布されたのは、この地震の1か月後です。

そのため津波警報が鳴ったときは、ハザードマップが未配布で、津波避難をどう考えたらよいかなど説明されていないタイミングだったこともあり、住民の避難行動には混乱も見受けられました。

■住民対象の説明会、実施は1地区のみだった

市は津波避難の考え方を市民へ周知し、円滑な避難行動が出来るように、新たな「津波ハザードマップ」の説明会を2種類計画していました。

1つは自主防災会や防災リーダーなどを対象とした説明会、もう1つは地区内の住民を対象とした説明会、この2種類です。

昨年の11月8日、警報サイレンを鳴らした「津波避難訓練」がありましたが、この訓練までに説明会を行うとしていました。説明会を行う地区は、沿岸部のまちぢから協議会6地区（湘南、南湖、海岸、茅ヶ崎南、浜須賀、松浪地区）です。

それで、実際に2種類の勉強会は、どれくらい実施されたのでしょうか？

私が一般質問で確認したところ、沿岸部6地区のうち、自主防災会や防災リーダーへの説明会が行われたのは5地区です。その一方で、地区内の住民を対象とした説明会が行われたのは1地区だけでした。

★ 最も優先して説明会が必要なのは、津波ハザードマップで浸水が想定される「浸水想定区域内」の住民や、その周辺の住民に対してのはずです。住民への説明会がほとんど行われていないことに危機感を感じ、早急な説明会の実施を要望しました。

市からは、住民への説明会を実施していない沿岸地区については、市の主催で日程や会場の確保を行い、年度内（令和8年3月まで）に説明会を行うとの回答をいただきました。

★ 今回、南湖地区においては、令和8年2月28日（土）に10:00から南湖会館で説明会が行われます。（市の防災対策課が主催）

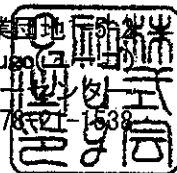
領収書

領収書番号 00001013443

財政ちがさき 杉本啓子様

お支払金額	¥ 25,245 (税込)
内訳	¥ 22,950 (本体価格)
	¥ 2,295 (消費税額)
但し	印刷代として (クレジットカードにて決済)
出荷日	2026-02-05
発行日	2026/03/26

〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地
株式会社 upo (株)
カスタマーセンター
TEL 0502-018-1785 FAX 0178-721-1538



ちがさき コーポレーション
(有限会社)

3000

茅ヶ崎市議会議員（無所属）

臨時号

杉本けいこ ちがさきレポート



特集 津波ハザードマップの勉強会

昨年、7月30日にカムチャツカ半島付近でマグニチュード8.7の地震が発生し、茅ヶ崎市を含む太平洋沿岸の広い範囲で津波警報が発令されました。

茅ヶ崎市の「津波ハザードマップ」が公表・配布されたのは、この地震の1か月後です。

そのため津波警報が鳴ったときは、ハザードマップが未配布で、津波避難をどう考えたらよいかなど説明されていないタイミングだったこともあり、住民の避難行動には混乱も見受けられました。

■住民対象の説明会、実施は1地区のみだった

市は津波避難の考え方を市民へ周知し、円滑な避難行動が出来るように、新たな「津波ハザードマップ」の説明会を2種類計画していました。

1つは自主防災会や防災リーダーなどを対象とした説明会、もう1つは地区内の住民を対象とした説明会、この2種類です。

昨年の11月8日、警報サイレンを鳴らした「津波避難訓練」がありましたが、この訓練までに説明会を行うとしていました。説明会を行う地区は、沿岸部のまちぢから協議会6地区（湘南、南湖、海岸、茅ヶ崎南、浜須賀、松浪地区）です。

それで、実際に2種類の勉強会は、どれぐらい実施されたのでしょうか？

私が一般質問で確認したところ、沿岸部6地区のうち、自主防災会や防災リーダーへの説明会が行われたのは5地区です。その一方で、地区内の住民を対象とした説明会が行われたのは1地区だけでした。

★ 最も優先して説明会が必要なのは、津波ハザードマップで浸水が想定される「浸水想定区域内」の住民や、その周辺の住民に対してのはずです。住民への説明会がほとんど行われていないことに危機感を感じ、早急な説明会の実施を要望しました。

市からは、住民への説明会を実施していない沿岸地区については、市の主催で日程や会場の確保を行い、年度内（令和8年3月まで）に説明会を行うとの回答をいただきました。

★ 今回、松浪地区においては、令和8年3月8日（日）に10:00から松浪コミュニティセンターで説明会が行われます。（市の防災対策課が主催）

領 収 証

No. 1016514-1

杉本啓子

様

★

¥327,591 -

但し ちがさきレポート No. 16 印刷代として (PayPay銀行利用)

2026年3月12日

上記正に領収いたしました

収
入
印
紙

内 訳

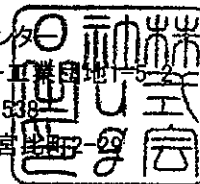
税抜金額	¥297,810
消費税額 10%	¥29,781

株式会社ugo(ユーゴ) カスタマーセンター

〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地1-5-2

TEL.0502-018-1785 FAX.0178-21-1538

本社/〒162-0822 東京都新宿区下宮北町2-29



20000 枚

茅ヶ崎市議会議員（無所属）

Vol.16

杉本けいこ ちがさきレポート



特集 知ってビックリ! 茅ヶ崎財政3

茅ヶ崎市の「財政が厳しい」と明らかになったのは、令和元年になった頃でした。前回の「知ってビックリ! ちがさき財政」では、なぜ市の財政が厳しくなったのかレポートしました。その後、市の財政はどうなったのでしょうか?

茅ヶ崎市の場合、市の収入の中心となる市税(市民税、法人税、固定資産税など)は、大幅に増加しません。そのなかで、平成27年頃から耐震性に課題のある公共施設の建て替えや再整備などが連続します。(市役所の建て替え、柳島スポーツ公園の建設、市民文化会館の耐震・リニューアル工事、うみかぜ テラス、学校施設の大規模な修繕、地域医療センター整備、その後も博物館、道の駅の建設など)

普通建設費は平成30年度に106億円となり、その財源として発行する市債(借金)の額も年々増加して、平成30年度は108億円と過去最高額となります。しかし借金は返済しなければならず、返済額も本格的に増加していきます。(令和元年度42億円、2年度47億円、3年度50億円、4年度55億円、5年度58億円、…)

また、扶助費(子育て支援、小児医療費の助成、生活保護費など)の増加、人件費や公共施設の管理・運営費や委託料の増加など、経費も膨れ上がります。

同時に、茅ヶ崎市立病院の経営も破産寸前となり、その立て直しのために、令和元年9月に「市立病院 リバイバルロードマップ」が発表され、令和2年3月に「茅ヶ崎市財政健全化緊急対策」が発表されました。そして、市と市立病院の立て直しに着手し始めた矢先に、世界的なコロナ感染の流行が始まります。

財政の立て直しを行うなかで、令和2年度からはコロナ感染症対策も最優先となっていきます。(市役所の若手職員と医療従事者の方々の奮闘には改めて感謝いたします。)

経済の先行きが不透明となり、令和3年度の予算は過去に例のない大幅な見直しとなりました。令和3年度は、義務的経費(扶助費、人件費、公債費:借金返済)という削ることのできない経費とコロナ感染対策に限定された予算となります。また、この年からスタートする予定の実施計画(総合計画)も令和5年度からに延期されました。

